

蟹江町歴史民俗資料館

# 年報

第 39 冊

平成 31 年 3 月

蟹江町歴史民俗資料館

# 目次

I 歴史民俗資料館概要	1
1 沿革	1
2 施設概要	1
II 歴史民俗資料館事業	2
1 展示	2
(1) 常設展示	2
(2) 特別展示	3
(3) 企画展示	3
2 教育普及	5
3 資料の収集・保管	11
(1) 収集資料の特色	11
(2) 収蔵資料の状況	11
4 調査・研究	13
5 情報提供	13
6 利用状況	13
III 文化財保護事業	15
1 文化財保護等事業費補助事業	15
2 文化財公開事業	16
3 文化財普及・啓発事業	17
4 ユネスコ無形文化遺産登録関連事業	17
IV 資料編	20

蟹江町歴史民俗資料館特別展

# 子供と祭礼・行事



昭和 53 年  
今川東上提灯祭り



昭和 29 年須成祭稚児



昭和 30 年代七夕行事

平成30年1月13日(土) ~ 3月11日(日)

午前9時~午後5時 月曜休館 入館無料

場所 蟹江町歴史民俗資料館 企画展示室  
蟹江町城一丁目214番地 蟹江町産業文化会館内  
TEL/FAX 0567-95-3812

主催 蟹江町教育委員会

## 開催にあたって

地域や社会、あるいは家族のなかで、子供が特別な存在としてとらえられる場面があります。たとえば、七五三などの子供の成長にあわせて行われる儀礼や、稚児が神の化身として位置づけられる須成祭など、伝統行事のなかにみることができます。

しかし、その一方で、時代の流れにより、簡略化されたり、商業ベースに乗ることで派手になったりするなど、変容がみられる行事も多くあります。そして、子供をとりまくさまざまな文化も変化してきています。

今回の展示は、子供が主役となる行事を紹介するとともに、子供をとりまく文化の変化についてもとりあげ、変化する中で忘れられつつある行事等の本来の意味を再認識してもらい、次世代への継承につなげることを目的として開催します。

なお、今回の特別展開催にあたって、今区、須成区をはじめとした関係団体や多くの方々にご協力いただきました。ここに厚く感謝申し上げます。

平成30年1月吉日

蟹江町歴史民俗資料館

# 1 子供の成長儀礼

## 誕生

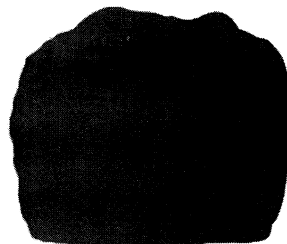
子供の誕生は、家族や親戚にとって一大事であり、誕生前から産着の準備をしたり、安産を祈願する贈り物が用意され、その時を迎えます。尾張では、子供のものはザイシヨ(母親の実家)が準備するものとされており、生まれてくる子供の着物や道具をザイシヨが購入します。

昔から、安産祈願として、戌の日に腹帯を締める風習がありますが、これは犬のお産が軽く、子たくさんであることにあやか行われてきました。これと同時に、犬張子の人形を贈り、安産を祈願するところもあるそうです。

子供が誕生しても、しばらくは病気にかかりやすいなど、無事に成長できるか不安な日々が続きます。そのため、節目、節目でさまざまな儀礼を行い、成長を祝い、祈願したのです。誕生後3日目には、イゾメ(衣初め)、ユゾメ(湯初め)といって、産湯につかり、テトオシといわれる着物を初めて着ます。その後には、オヒチヤ(お七夜)祝い、という親戚を招いて祝う行事があります。誕生7日目の行事だとされますが、実際は宮参りの後に行われてきたようです。この地域では女性の親族が集まってお祝いの行事をしたといい、この時、袋に米を入れて持って行くしきたりがありました。この袋を七夜袋といい、もらった家から七夜袋を返す時に菓子を入れて返すこともあったそうです。



テトオシ



七夜袋